

美保中学校区の取組

○中学校区のめざす子ども像

かかわり合い 支え合い 高め合う 子どもの育成

1. 確かな学びの実現に向けて

(1) 教科でつながる小中連携授業力向上支援事業

平成26年度から効果的な協同学習のための学習スタイルの形成を目指し、研究を推進してきた。今年度は、これまでの研究の経緯を土台として、協同学習を軸とした組織的な授業改善を目指して、外部アドバイザーとして岡山大学教師教育開発センター 教授 高旗浩志 先生をお招きし、研修を行った。

- ・ 6月15日(水) 授業研究会(美保中学校) 3年生 国語
- ・ 10月13日(木) 授業研究会(美保中学校) 2年生 英語
- ・ 10月25日(火) 小中合同授業研究会(大篠津小学校)
公開授業 4年 算数「面積」
6年 学級活動(2)



それぞれに、協同的な学び合いの場を位置づけた学習を公開した。授業研究会での分科会では、参加者をグループに分けて、ジクソー法を取り入れた形式の協議を行った。

また、高旗浩志先生から「新しい自分に出会える学校をつくるために～安心して夢中になって学べる教室を～」と題して、協同学習の理念や学習指導感・授業感についてご講義いただいた。

(2) 小中一貫カリキュラム作成

- ・ 国語科、算数・数学科の小中一貫カリキュラムの作成

(3) 中学校教員による出前授業(英語、音楽等) 3月中旬に予定

2. 児童・生徒交流

(1) 児童・生徒による自治的・自発的な取組

①美保中校区児童生徒交流会 8月22日(月)

美保中生徒会と中学校区小学校の代表が集い、より良い学校づくりに向けた中学校の取り組みを聞き、その後、小グループに分かれてそれぞれの小学校の良さや課題を発表し合い、さらによくするための意見交換を行った。その後、地域のボランティアさんの協力で、流しそうめんを楽しんだ。



②各校での取組

10月12日(水)に米子市文化ホールで開かれた「小中学生サミット」と美保中校区児童生徒交流会を受けて、学校で次の事を取り組んだ。(例:大篠津小学校)

○第1回代表者会 10月14日(金) (参加者;各学級・委員会の代表者)

- ・「小中学生サミット」での宣言文の内容を伝達する。
- ・宣言文を受け、大篠津小学校の良いところ、直したいところを各学級で話し合い、次の代表者会で発表することを確認する。

○第2回代表者会 10月21日(金) (参加者;各学級・委員会の代表者)

- ・それぞれの学級で話し合ったことを発表する。
 - ①よいところ・・・みんながお互いの顔と名前を知っている。詩の暗唱をしている。
 - ②直したいところ・廊下を走る。わる口を言ったり、ふざけたりする人がいる。
あいさつをする人が限られていたり、声が小さかったりする。

○全校集会 10月28日(金)

- ・サミットの宣言文の内容の伝達と代表者会の結果を発表した。

○美保中学校生徒会との交流 12月5日(月)

(参加者;美保中学校生徒会3名と本校5・6年生児童21名)

- ・大篠津小学校において、美保中学校区小中学校連携で行っているあいさつ運動の取組について、活動を通して感じているよい点やもっとよくしたい点について3つのグループに分かれて出し合った。
- ・よくするための具体的な取組方法について、付箋に書き出し、すぐにできそうな取組はどれかを検討し、グループごとに意見をまとめて発表を行った。



(2) いじめ0キャンペーン

一昨年度より「いじめ0キャンペーン」と称して、各校の生徒会・児童会が中心となり、中学校区全体でいじめを撲滅するための取組を行っている。

各校の代表委員会でスローガンを決め、それを学級に持ち帰り、各個人がいじめをなくすための自分の決意や目標を記入し、教室に掲示して随時見直している。



(3) 学習発表会への中学生参加(合唱交流)



・11月12日(土)

各小学校へ美保中3年生3クラスがそれぞれ参加し、小学生との合同合唱を行った。
小中学校連携でおこなっているあいさつ運動などの取組の紹介も行った。

(4) あいさつ運動

毎月1回、中学生が母校を訪れ、小学生とともにあいさつ運動を行っている。「あいさつ日本一」の幟を掲げ、元気なあいさつを響かせている。

地域のボランティアの方も一緒になり、小中学生だけでなく、地域が一丸となった取組になっている。



(5) 中学校入学説明会 2月4日(土)

中学校入学に対する不安を解消するため、中学校の生活や学習、部活動等の説明に加え、中学生による人権弁論大会、美保中学校執行部・応援団の歓迎セレモニーを開催している。また、今年度から、児童生徒交流会を開き、各校のよりよい学校づくりに向けた交流会後の取組を発表し合い、共有できるようにしている。

(6) 小小行事交流

小学校3校ともに小規模であることから、元々は経費削減のために校外行事を合同で行っていた。行事を共にすることで自然に交流が深まってきたが、次年度からは児童交流をねらいの一つに加えた行事にするため、合同行事として位置づける行事とそのねらいを明確にするための協議を行った。



3. 健康でたくましい子の育成

(1) 早起き大作戦

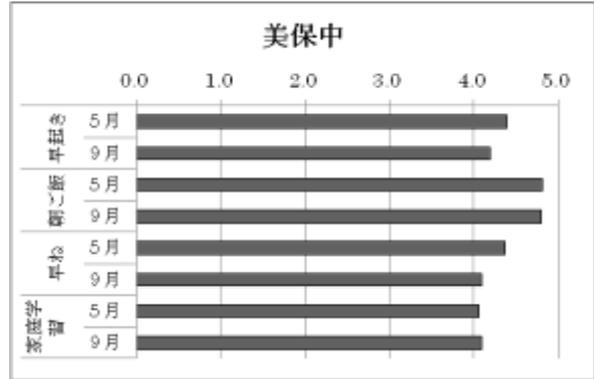
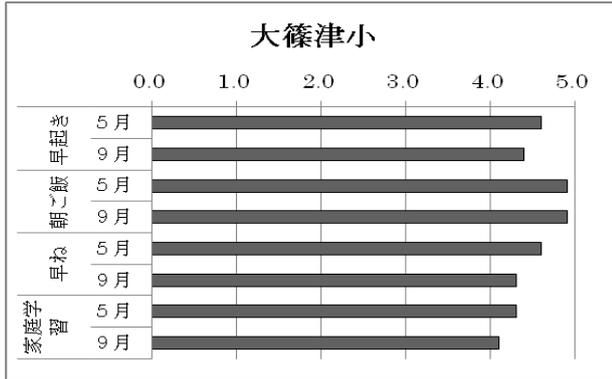
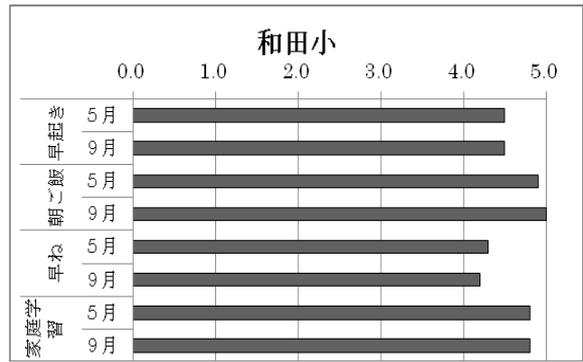
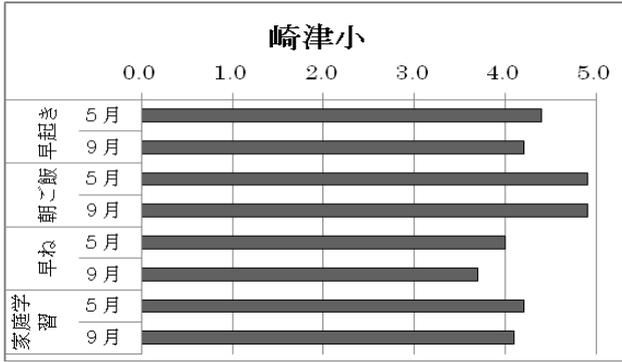
平成23年度より、美保中学校区の小中学校で、鳥取県教育委員会の「心とからだいきいきキャンペーン」をもとに「早起き大作戦」に取り組んでいる。

早起きをするだけでなく、「朝ご飯を食べる」「家庭学習をする」「寝る時間を守る」というサイクルを毎日積み重ねていくことで基本的な生活習慣が身につくという観点から、年3回、学期ごとに実施している。

早起き大作戦の方法

- ・「早起き大作戦カード」を使い、児童・生徒全員が「起床時間」「就寝時間」「家庭学習時間」「朝食の有無」について記入する。
- ・「起床時間」「就寝時間」は児童・生徒それぞれが目標を決めて取り組む。
- ・「家庭学習」については、美保中学校区「家庭学習の手引」を参考に目標を決めて取り組む。
- ・小学生は「早起き大作戦カード」を家に持ち帰り、保護者の人と一緒に記入する。
- ・中学生は学校で毎日「早起き大作戦カード」に記入する。

〈早起き大作戦の結果〉



・各校とも、9月は、運動会練習などで生活リズムの乱れがみられたため、学校だよりや保健だよりなどで家庭での協力を呼びかけ、生活習慣の見直しを図った。

(2) 生活実態アンケート

美保中学校区では小中学校4校で児童・生徒の生活の実態を把握するため、生活アンケートを実施し、その分析に基づき指導に生かしている。

美保中学校区 調査委員会 生活アンケート 【平成28年】について

学年 1 2 3 4 5 6 年 性別 男 女

1. 運動靴のスエーデンラフに入っていますか。
 入っている 入っていない
2. 運動靴のスエーデンラフのくまひしていますか。(学校の授業をのぞきます)
 ほとんど毎日 (週に2日より多い) ときどき (週に1-2日くらいい) たまに (月に1-2日くらいい) しない
2. 運動靴のスエーデンラフを洗うときは、1日にどのくらい洗いますか。
 (学校の授業をのぞきます)
 20分まで 20分から1時間まで
 1時間から2時間まで 2時間より多い
3. 靴底を洗えますか。
 毎日洗える 時々洗えない 毎日洗えない
4. 1日にどのくらいお風呂に入りますか。
 1時間まで 2時間から3時間まで 3時間より多い
4. 1日にどのくらいテレビを見ますか。(テレビゲームも含みます)
 1時間まで 1時間から2時間まで
 2時間から3時間まで 3時間より多い
5. 1日にどのくらいパソコンや携帯電話を使いますか。
 使いません 1時間まで 1時間から2時間まで
 2時間から3時間まで 3時間より多い
6. よる寝る時刻はどのくらいですか。
 2時まで 2-3時 3-4時
 4-5時 5-6時 6時を過ぎています

9. 夜中やおやすみ時、

寝る たまにする しない

10. 寝る時に足が冷たくていびきや目を覚ますことがありますか。
 はい たまにある ひつと寒
 いいえ 寝た人は、どういふことがいびきや目を覚ますか?

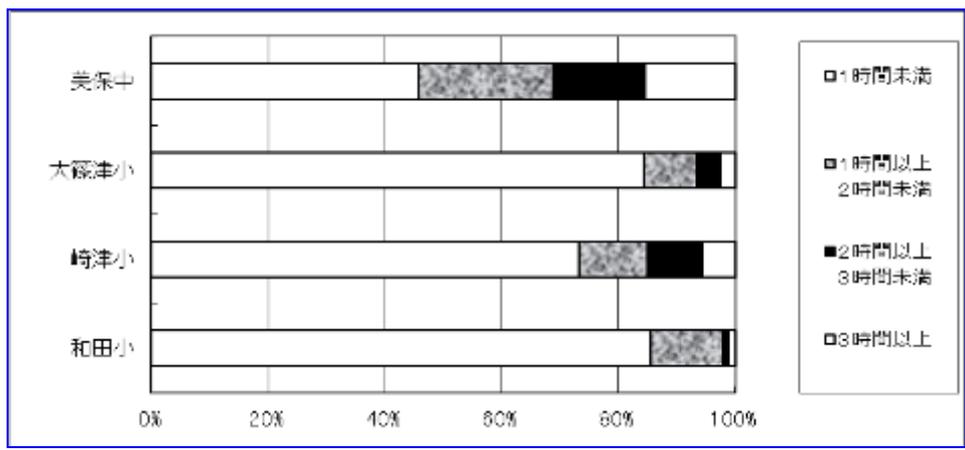
11. 知れたら自分の寝たところを教えてください。
 寒い 暑すぎる ぬるい 蒸し暑い
 いいえ 寝た人は、どういふことがいびきや目を覚ますか?

12. 寝る時にどのくらいお風呂に入りますか。
 はい たまにある よくある
 いいえ 寝た人は、どういふことがいびきや目を覚ますか?

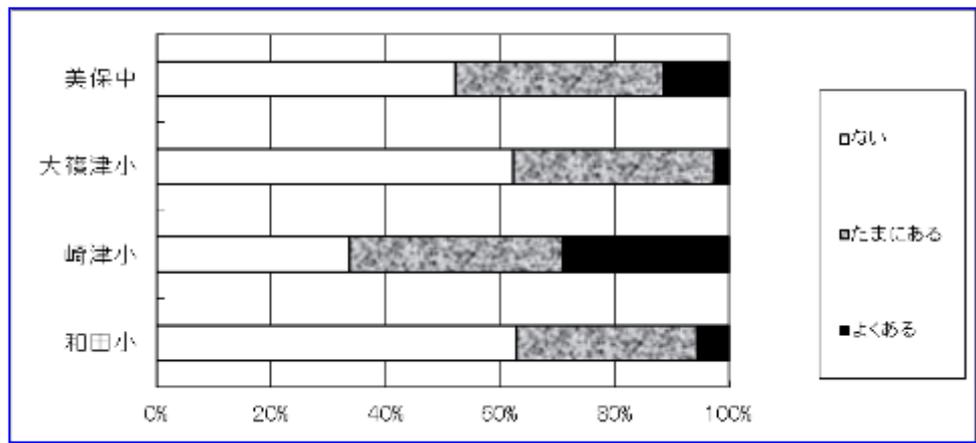
※ 本校・美保中学校区の実態を把握するためのアンケートです。正確に書くようお願いします。

(調査結果のまとめ・一部抜粋)

○一日にどのくらい通信機器をしますか？(パソコン・ゲーム・インターネット・ipod・LINE等)



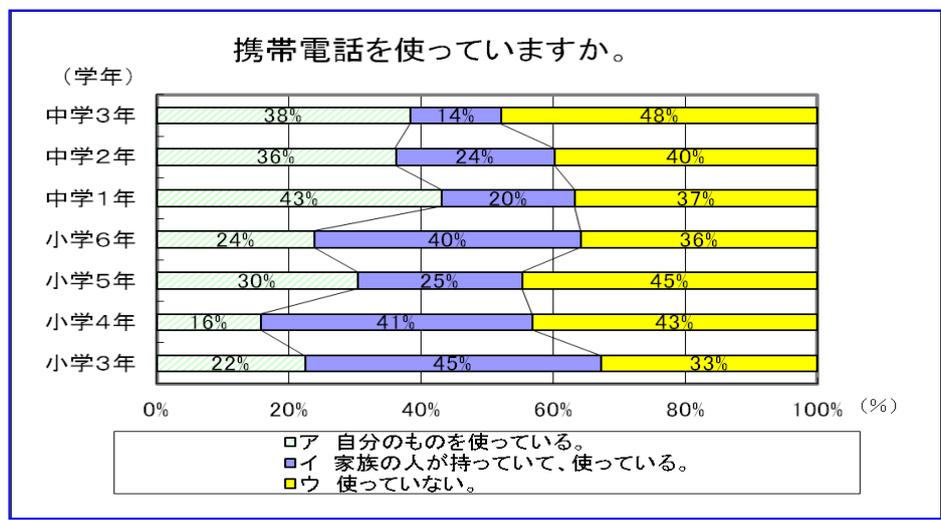
○朝、学校に行くのがいやになることがありますか。



(3) 生徒指導部による情報に関するアンケート

生徒指導部でも携帯電話やインターネットなどの利用状況の実態把握、中学校区で共通のアンケートを実施し、指導に役立てている。

(調査結果のまとめ・一部抜粋)



4. 成果と課題

- 「教科でつながる小中連携授業力向上支援事業」に向けた各校での研究推進や中学校区授業研究会での分科会協議等を通して研究の有効性を確認し合い、今後の研究推進への意欲化が図れた。
- 協同的な学び合いを意図的に位置付けることにより、自分の考えを進んで友達に伝えようとする姿や難しい問題にも友だちと知恵を出し合い、立ち向かっていこうとする姿が多く見られるようになった。
- よりよい学校づくりに向けた美保中校区児童・生徒交流会は、児童・生徒の自治力を高める取り組みとして有効であった。次年度は、年度当初に活動のねらいと活動計画を明確にし、見通しを持って取り組みたい。
- 小学校3校で行事を合同で行い、連携を深めていくことで、中一ギャップ解消の一助につながっていく。今後も計画的な交流とねらいの明確化を図り実施していきたい。
- 学力の定着に向け、各校で日々の授業の工夫改善に努めるとともに、学習規律の定着や家庭学習の充実など、さまざまな取り組みを行っているが、十分な成果が出せていない。中学校区全体で、学習のスタンダードを作成したり、「家庭学習の手引き」を見直したり等して、明確な方策・手立てを共通理解のもとに実施し、評価と見直しを適時に行い確実な定着を図っていききたい。
- 中学校区で早起き大作戦や生活実態アンケートを実施し、生活習慣の改善に定着を図ってきているが、「就寝時間」や「家庭学習の時間」等の改善が十分にできていない。今後はさらに学校間の連携を密にし取り組んでいきたい。